



取扱説明書

2015-01

通し番号：

登録番号：

サービス電話番号：

納入会社：

目次

はじめに	4
安全上のご注意	5
仕様書	7
各部のなまえ	8
ディスペンサーの機能と操作	10
ディスペンサーの電源オン／スタンバイ	10
水タンクへの給水	10
コーヒーパックの交換	11
カップへの抽出	12
ポットへの抽出	13
給湯	14
ディスペンサーの移動	15
お手入れ — 毎日の清掃	16
お手入れ — 週1回の清掃	18
長時間使用しないときのお手入れ	19
トラブル診断表	21
水タンクの水垢除去	23

はじめに

この取扱説明書には、ディスペンサーの機能、取扱い、お手入れについての説明とご注意が記載されています。

コンテナディスペンサーは、コーヒーと熱湯を、カップ、マグ、あるいはポットで供給するように設計されています。操作が簡単なうえにデザインがシンプルですから、あらゆる点で便利にお使いいただけます。お手入れも面倒でなく、ごく短時間で済ませることができます。

ディスペンサーの性能を最大限にご利用いただくため、取扱いとお手入れはこの取扱説明書の説明を守って行なってください。

重要

安全上のご注意をよくお読みになり、まだ不明な点などがある場合は納入会社の担当員にお問い合わせください。

ディスペンサーの取扱いとお手入れをこの取扱説明書の説明にしたがってなされなかった場合は、メーカーおよび DECS International は故障や負傷についての責任を負いかねますのでご了承ください。

© DECS International 1999/2014

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。



安全上のご注意

取扱い

設置、プログラミング、および調整は、必ずサービス技術員または他の認定サービス員が行なわなければなりません。
本機のカバーは安全上の理由から取り外さないでください。

ディスペンサーを本来の用途以外に使用しないでください。

このディスペンサーは屋内専用です。ディスペンサーを流し台（濡れた場所）や加熱調理器具（熱いもの）の近くに置かないでください。

ディスペンサーを周囲温度 1℃未満の場所に保管しないでください。

水タンクへの給水には必ず新しいきれいな飲用水を使用してください。最適な水質を維持するため、1日の開始時に新しい水道水を水タンクに補給することをお勧めします。

ディスペンサーは、必ずトラフを正しく取り付けから使用してください。トラフを取り付けずにディスペンサーを使用されると、熱湯が飛び散るおそれがあります。

ディスペンサーから供給されるお湯は非常に高温です。ディスペンサーがコーヒーや熱湯を供給している間は、手や身体を供給エリアに近づけないでください。

同様に、子供がいるときはディスペンサーのそばを離れないでください。

ドリフトトレイの容量は 250ml（1～2カップ分）と比較的小さいのでオーバーフローにご注意ください。ドリフトトレイは定期的に空にしてください。また、カップやポットを置かずにコーヒーまたはお湯を注いでしまったときも空にしてください。

ディスペンサーを長時間（たとえば、夜間や週末の間）使用しないときは、スタンバイモードに切り換えてください。

誤作動の場合は電源コードを抜いてください（コーヒーパックは冷蔵庫に保管してください）。電源をオフにするとクーリングシステムが機能しなくなり、コーヒーが適温で貯蔵されません。

ディスペンサーは衛生上の理由と機能上の理由から、この取扱説明書の説明にしたがって1日の始めと週に1度のお手入れをしてください。

いつも基本的な衛生に注意され、食品用中性洗剤のみをご使用ください。ディスペンサーの部品は清潔な濡れた布で拭いて清掃してください。スプレー等の汚れ落としは使用しないでください。

ディスペンサーを移動するときは、移動の前に必ず15ページの説明をお読みください。

据付式の給水接続装置を装着しているディスペンサーのために：水質をチェックしてください、もし必要であるならフィルター/ソフトナーを取り付けてください。

このデバイスは8歳以上の児童、肉体的、知覚的機能、または、知能が減少した人、または、経験や知識の無い人が、監督の下で、または、デバイスの安全な使用についての指示を受け、結果的リスクについて理解した場合には、使用できます。児童はこのデバイスで遊ぶことはできません。ユーザーによる清掃およびメンテナンスは監督されていない児童により行うことはできません。

農家で;ホテル、モーテル、他の居住環境のクライアントで、ベッド＆ブレイクファーストの環境では、ショップ、オフィスやその他の作業環境で、スタッフのキッチンエリア:このアプライアンスは、次のような、家庭用及びこれに類するアプリケーションで使用されることを意図しています。

コーヒーの保管

コーヒーの品質劣化を防ぐため、クーリング室は常にしっかりと閉じておいてください。

解凍したコーヒーパックは、冷蔵庫内で6℃で保管してください。

必ずコーヒーパックの賞味期限（best before date）をチェックし、保管している期間が長いコーヒーパックから先に使用してください（先入れ先出しの原則）。

一度解凍したコーヒーを再凍結しないこと。再凍結、再解凍はコーヒーの品質を低下させます。

電氣的安全性

電源コードやディスペンサー本体を決して水その他の液体に浸けないでください。

部品が濡れていたり手が濡れているときは、電源コードをコンセントに差し込んだり抜いたりしないこと。

電源コードやプラグが傷んでいるときは操作をしないでください。電源コードの交換は、サービス技術員または他の認定サービス員以外行うことができません。

ラベル上で表示されている電流 / 電圧以外では、ディスペンサーをご使用なさないでください。

本機は、予備ヒューズで安全を確保された回路か、なるべくなら故障電流安全スイッチを備えた回路に接続しなければなりません。

本機を移動したときは、新しい場所で電源コンセントに接続した際に負荷が回路の容量をオーバーしないか確認してください。

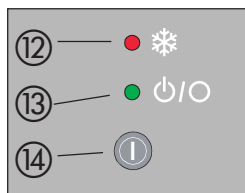
仕様書

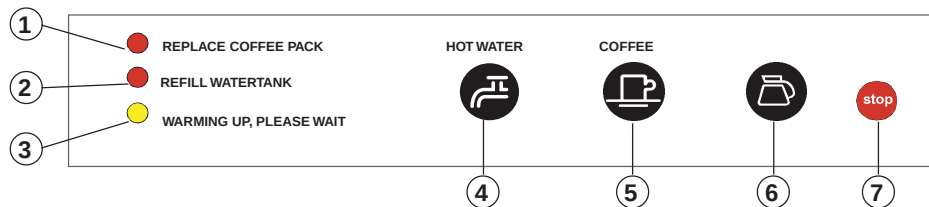
デイスペンサー本体	外形寸法 重量	高さ 568 mm × 幅 365 mm × 奥行 350 mm 12.0 kg (水とコーヒーパックを含めて 19 kg)
抽出口	カップ容積 抽出時間 ポット容積 抽出時間 待ち時間	熱湯 (左) 、コーヒー (右) 調整可能 (20 ～ 200 ml) 8 ～ 10 秒 (125 ml) 調整可能 (400 ～ 999 ml / 出荷時設定 : 900 ml) 約 60 秒 次のポットまで約 120 秒
電源		85 ～ 250 V 50/60 Hz
消費電力		2.1 kW/230 V, 1.25 kW/120 V, 1.1 kW/100 V
抽出能力		230 V のとき 160 杯 / 時 (20リットル / 時) 120 V のとき 116 杯 / 時 (14.5リットル / 時) 100 V のとき 100 杯 / 時 (12.5リットル / 時)
環境	温度 湿度	使用時保管時とも 1 ～ 32℃ 最高 100% (相対湿度)
クーリング室	容量 温度	1.25リットル (コーヒーパック用) 2 ～ 5 ℃
内蔵ボイラー	容量 温度範囲	1.8 リットル 83 ～ 96℃
給水		容量3リットルの脱着可能水タンク 据付式の給水接続装置 (オプション)

各部のなまえ



1. 水タンク上蓋
2. 水タンク
3. 水位表示窓
4. ドリップトレイ
5. カップグリル
6. コーヒー抽出口
7. 熱湯抽出口
8. 操作パネル
9. クーリング室ドア
10. クーリング室
11. コーヒーパック
12. クーリング温度（高すぎ）表示ランプ
13. 電源オン / スタンバイ表示ランプ
14. 電源オン / スタンバイスイッチ





操作パネル

1. コーヒー空 — 表示ランプ
2. 水タンク空 — 表示ランプ
3. 内蔵ボイラー温度（低い） — 表示ランプ
4. 熱湯ボタン
5. コーヒー（カップ） ボタン
6. コーヒー（ポット） ボタン
7. ストップボタン

ディスペンサーの機能と操作



ディスペンサーの電源オン/ スタンバイ

スイッチを押して、ディスペンサーをオンまたはスタンバイの状態にしてください。

緑色の「電源オン」ランプが点灯して、ディスペンサーのスイッチがオンになっていることを示します。スタンバイモードの時はクーリング以外の全機能が停止しています。（8ページの図を参照）

ディスペンサーをオフにするために電源コードを抜かないでください。

電源を切るとクーリングシステムが機能しなくなり、コーヒーバック内のコーヒーが劣化します。



水タンクへの給水

（据付式の給水接続装置を装着していない場合）

水位表示窓で水タンク内に水がないことが分かったときや、「水タンク補給」ランプが点灯したときは、次のようにしてください。

1. 上蓋をはずしてください。
2. 取っ手を持って水タンクをディスペンサー本体から取り出してください。
3. 水タンクを空にしてすすぎ洗いしてから、新しいきれいな飲用水をタンクに満たしてください。

- 最適な水質を維持するため、1日の開始時に新しい水を水タンクに補給することをお勧めします。



4. 水タンクに水を入れすぎないでください。余分な水は、タンク後側の丸い穴からこぼしてください。
 5. 水タンクを元通り取り付けてください。
- タンク後側の四角い穴を本体の枠の位置決めフックにかけて固定してください。



コーヒーパックの交換

「コーヒーパック交換」ランプが点灯したら、次のようにしてください。

1. クーリング室のドアを開けてください。
2. 空になったコーヒーパックを取り出してください。
3. ドーシングチューブからコーヒーの滴を拭き取って、コーヒーの滴がこぼれないようにしてください。
4. 空のパックを処分してください。
5. クーリング室の内側を清潔な濡れた布で清掃してください。

6. 新しいコーヒーパックを取り出し、賞味期限をチェックしてください。賞味期限の切れたコーヒーは決して使用しないでください。

常に保管している期間が一番長いコーヒーパックから順に使用してください（先入れ先出しの原則）。

7. パックに記載された説明に従ってください。

- パックを最低10回振ってください。パックが十分解凍していることを確認してください。
- ドーシングチューブをのばしてください。

8. 新しいコーヒーパックをクーリング室にセットしてください。
9. クーリング室のドアを閉じてください。

- コーヒーを1杯抽出して、ディスペンサーの動作をチェックしてください。



カップへの抽出

1. カップやマグを右（コーヒー）抽出口の下、指示エリア内のカップグリルに置いてください。
- カップの高さは最大 130 mm までです。

2. コーヒー（☕）ボタンを押してください。右の抽出口からコーヒーが抽出され、カップ 1 杯分が抽出されると止まります（ポーションフロー / 一杯毎）。

ディスペンサーを連続フローにプログラムしている場合は、次のようにしてください。

- ストップボタン[stop]を押せばいつでも抽出を中断または中止することができます。
- 1 カップより少ないコーヒーが欲しいときも、ストップボタン[stop]を用いることができます。



ディスペンサーから供給されるお湯は高温です。ディスペンサーがコーヒーや熱湯を供給している間は、手や身体を供給エリアに近づけないでください。

- コーヒー（☕）ボタンを押すと、コーヒーの抽出が始まります。
- 希望する量のコーヒーが抽出されるまで、ボタンを押し続けてください。



ポットへの抽出

1. ポットを、右（コーヒー）抽出口の下に置いてください。
2. コーヒー（**C**）ボタンを押してください。
 - 右の抽出口からコーヒーが抽出され、0.9リットルのコーヒーが抽出されると止まります。
 - ストップボタン[stop]を押せばいつでも抽出を中断または中止することができます。
 - 0.9リットル未満のコーヒーが欲しいときも、ストップボタン[stop]を用いることができます。



ディスペンサーから供給されるお湯は高温です。ディスペンサーがコーヒーや熱湯を供給している間は、手や身体を供給エリアに近づけないでください。



給湯

1. カップやマグを左（熱湯）抽出口の下、指示エリア内のカップグリルに置いてください。
- カップの高さは最大130mmまでです。

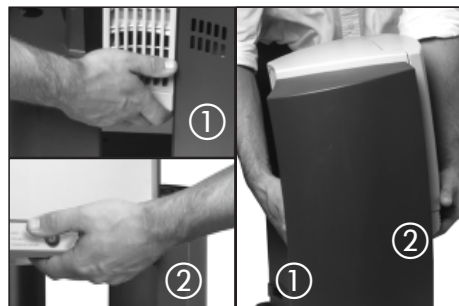


ディスペンサーから供給されるお湯は高温です。ディスペンサーがコーヒーや熱湯を供給している間は、手や身体を供給エリアに近づけないでください。

2. 熱湯（）ボタンを押してください。左の抽出口から熱湯が供給され、カップ1杯分の熱湯が出ると止まります（ポーションフロー / 一杯毎）。

ディスペンサーを連続フローにプログラムしている場合は、次のようにしてください。

- ストップボタン[stop]を押せばいつでも給湯を中断または中止することができます。
- 1カップより少ない熱湯が欲しいときも、ストップボタン[stop]を用いることができます。
- 熱湯（）ボタンを押すと、熱湯が始めます。
- 希望する量の熱湯が出るまで、ボタンを押し続けてください。



ディスペンサーの移動

清掃やコーヒー抽出の際、ディスペンサーを別の場所に移した方が望ましいことがあります。ディスペンサーを実際に移動される前に、以下に述べる手順を実行してください。



ボイラーのなかに熱湯が入っている場合があることにご留意ください。運搬の際にディスペンサーをひどく傾けたり揺すったりすると、熱湯があふれ出る危険があります。

ですから、ディスペンサーを移動するときは、電源を切り、（ボイラー内のお湯がさめるまで）最低3時間待つことをお勧めします。

1. スイッチを押してディスペンサーをスタンバイモードにし、電源コードを抜いてください。
2. コーヒーパックを取り出し、冷蔵庫に一時保管してください。
 - ボイラーがさめるまで、ここで3時間待つようお勧めします。
3. トラフ[1]、水タンク[2]、およびグリルごとドリフトトレイ[3]を外してください。
4. ディスペンサーを清潔な濡れた布で清掃してください。抽出口周辺は特に念入りに清掃してください。
5. ディスペンサーを図のように静かに持ち上げてください。運搬中に傾けたり揺すったりしないでください。

6. ディスペンサーの重量（19 Kg）を支えることのできる水平で安定した表面に置いてください。
 - ディスペンサーの背後に十分な換気のスペースがあることを確認してください。
7. ドリフトトレイ、グリル、トラフ、水タンクを元通り取り付けてください。
8. 電源コードをコンセントに差し込み、ディスペンサーのスイッチを入れ、コーヒーパックをセットしてください。
 - ディスペンサーのために回路の電流容量が負荷オーバーになっていないことを確認してください。

お手入れ — 毎日の清掃



清掃を開始する前に、スイッチを押してディスペンサーをスタンバイモードにしてください（電源コードは必ず接続したままにしておくこと）。

- トラフを下に引っ張ってから手前に引き出して外してください。



トラフ内のお湯やコーヒーの残りにご注意ください。

- トラフを清掃しすすいでください。

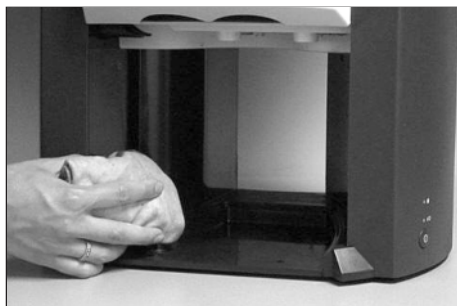
トレイ、トラフ、カップグリルは食器洗い機で洗浄できます。水タンクは決して食器洗い機で洗浄しないでください。

- ドリップトレイとカップグリルを取り外してください。



トレイ内のお湯やコーヒーの残りにご注意ください。

- グリルを外し、必要ならトレイ内の液体を空けてください。
- グリルとトレイを清掃してください。



- 供給エリア全体を清潔な濡れた布で清掃してください。
- 取り外した部品を逆の順序で元通り取り付けてください。（1－ドリフトレーとグリル、2－トラフ）
- 必要なら水タンクに水を補給してください。
- すべての部品が正しく取り付けられているかチェックしてください。
- ディスペンサーのスイッチを入れてください。
- コーヒーと熱湯を1杯ずつ出して、動作をチェックしてください。

お手入れ — 週1回の清掃



ディスペンサーがスタンバイモードになっていることを確認してください（電源コードは必ず接続したままにしておくこと）。

「毎日の清掃」手順（前ページ）のステップ1、2を実行してください。

注意

据付式の給水接続装置を装着している場合、水タンクの清掃はご不要です。

 **トラフ内のお湯やコーヒーの残りにご注意ください。**

クーリング室

- クーリング室のドアを開けてください。
- コーヒーパックを取り出し（静かに持ち上げる）、管から残っているコーヒーを拭き取り、パックを冷蔵庫に一時保管してください。
- クーリング室の内側を清潔な濡れた布で清掃してください。
- クーリング室の基底にある丸い穴を、ディスペンサー付属の専用ブラシで清掃してください。
- コーヒーパックをあらためてセットし、クーリング室のドアを閉じてください。

水タンク

- 水タンクを空にしてください。
- タンクの内側をブラシと食品用中性洗剤で清掃してください。
タンクの中のストレーナ（こし器）をなくさないようご注意ください。

水タンクは食器洗い機で洗わないでください。

- タンクをよくすすぎ洗いしてください。
- 水タンクに水を補給し、元通り取り付けてください（最高水位表示以上に水を入れないこと）。
- 「毎日の清掃」のステップ3、4に進んでください。

長時間使用しないときのお手入れ



ディスペンサーを長時間使用しない予定のときは、次の処置を講じてください。

1. ディスペンサーをスタンバイモードにし、電源コードを抜いてください。
2. 「毎日の清掃」手順（16 ページ）を実行してください。

3. クーリング室のドアを開け、コーヒーパックを取り出し、クーリング室を清潔な濡れた布で清掃してください。基底にある丸い穴は専用ブラシで清掃してください。クーリング室のドアは少し開けておいてください。
 4. コーヒーパックを冷蔵庫に保管してください（賞味期限をチェックのこと）。
 5. 水タンクを外して空にし、タンクを清掃してください。
- 納入会社に通知して、コーヒーの納期などを調整してください。

ディスペンサーを長時間使用しなかったときは、次の処置を講じてください。

- 必要なら納入会社に通知しコーヒーを注文してください。
1. 「週 1 回の清掃」手順を実行してください。
 2. 水タンクに新しいきれいな飲用水を給水してください。（据付式の給水接続装置を装着していない場合）
 3. 電源コードをコンセントに差し込み、ディスペンサーのスイッチを入れてください。



4. クーリング室のドアを開け、コーヒーパックをセットしてください。
- 前に取り出したコーヒーパックが賞味期限を過ぎていなければ、それを再び使用することができます。
そのため、賞味期限を確認してください。
5. ディispenserのスイッチをオンにし、熱湯を少なくともカップ15杯ほど出して、システムを洗浄してください。これらのお湯は廃棄してください。
6. 水タンクに水を補給してください。
(据付式の給水接続装置を装着していない場合)

トラブル診断表

表示	原因	処置
コーヒークが空 (REPLACE COFFEE PACK / コーヒークパック交換ランプが点灯)	コーヒークパックが空になったか、コーヒークパックのセットのしかたが悪い、またはセットされていない。	空のコーヒークパックを取り出してください。コーヒークパックの位置をチェックし、コーヒークパックに記載されている説明にしたがってセットしなおしてください。
水タンクが空 (REFILL WATERTANK / 水タンク補給) ランプが点灯)	水タンク内に水がないか、水タンクのセットのしかたが悪い、またはセットされていない。	水タンクに新しい水を補給してください。水タンクの位置をチェックしてください。
ボイラー温度が低すぎる (WARMING UP, PLEASE WAIT / 加熱中、お待ちくださいランプが点灯)	内蔵ボイラー内の水が適温に達していない。	2分前後 (1ポットのコーヒーク抽出後) または8分前後 (本機のスイッチを入れた後) お待ちください。プログラムされていれば本機は直ちにコーヒークを抽出しますが、その場合は温度が低くなります。 ランプが点滅し始めた場合はサービス員にご連絡ください。
「WATER TANK EMPTY (水タンク空) ランプが点滅している。(ディスペンサーはスタンバイモードになっている)	水タンク内にボイラーを満たすだけの水がなくなった。	水タンクに水を補給してディスペンサーのスイッチをオンにしてください。据付式の給水接続装置を装着している場合は、給水されているかを確認後、電源スイッチ (スタンバイ / オン) を押してください。 それでもランプが点滅をやめない場合はサービス員にご連絡ください。
クーリング室温度が高すぎる (赤色ランプが点灯)。	クーリング室の温度が2～5℃に維持できない。	クーリング室がきちんと閉じているかチェックしてください。コーヒークパックの温度が5℃よりずっと高くないかチェックしてください (パックが凍結していないかも確かめてください)。適切に解凍したコーヒークパックをクーリング室にセットしてください。 本機の背後に換気スペースがあるかチェックしてください。 ランプが点滅し始めた場合はサービス員にご連絡ください。

表示	原因	処置
----	----	----

電源オン/ スタンバイ表示ランプが点滅している
(本機のクーリング以外の全機能が停止している)。

安全回路が起動した。

本機を1度スイッチオフしてオンにしてください。それでもランプが点滅している場合はリセットしてください。
問題が持続する場合はサービス員にご連絡ください。

リセットのしかた

ディスペンサーの後側にa
あるリセットボタンを押
してください。このボタンは
カバーの穴 (1) から操作
することができます。



症状	原因	処置
----	----	----

ディスペンサーが動作せず、ランプも点かない。

電源が切れている。

電源プラグをチェックしてください。
電気回路 (故障電流安全スイッチまたはヒューズ) をチェックしてください。

選択ボタンを押しても何も起きない。

トラフが取り付けられていないか、
取り付け方が間違っている。

トラフをチェックし、必要なら修正してください。

熱湯しか出ない。

コーヒーパックのドーシングチューブが正しく取り付けられていないか詰まっている。

コーヒーパックとドーシングチューブの位置をチェックしてください (チューブはクーリング室の基底にある穴に通っていません)。必要ならあらためて取り付けるか交換してください。

水タンクの水垢除去

この手順は据付式の給水接続装置を装着している場合は
ご不要です。最も良い機械の状態を保つためには、およそ
6 カ月ごとに水タンクの水垢を除去することをお勧めしま
す。また、ご使用されている地域の水道水が硬水の場合、
より頻繁に水垢を除去する必要があります。

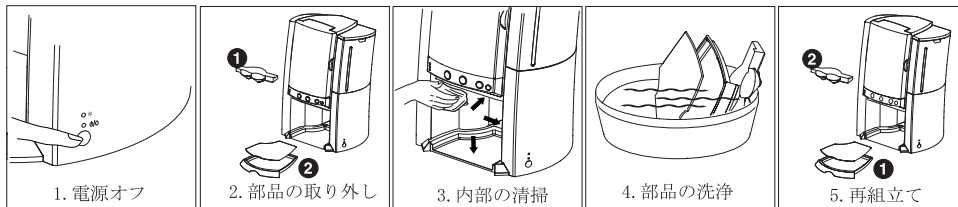
手順

1. 水タンクをディスペンサーから外してください。
2. 一般食品用水垢除去剤を用いてください。
3. 水垢除去剤の説明書に従い、水タンクの水垢を除去し
てください。
4. 水垢除去剤が完全に洗い流されるまで、水タンクを良
くすすいでください。
5. 水タンクに給水して、ディスペンサーに装着してくだ
さい。

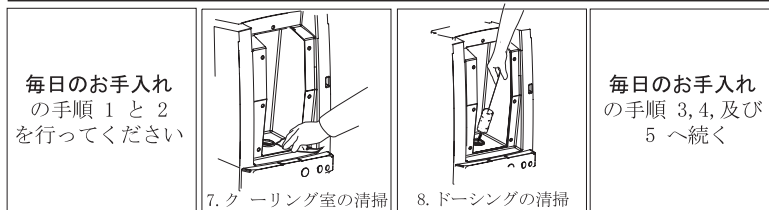
水タンクがディスペンサーに装着されている時、決
しての水垢の除去を行わないでください！

据付式の給水接続装置を装着しているディスペンサーのクイックリファレンス

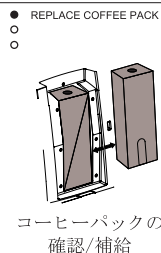
毎日のお手入れ



週ごとのお手入れ



表示部の説明



注意

ディスペンサーを
移動する前に

電源オフ後必ず
3時間待ちボイラー
内の熱湯を冷まして
ください

移動時は
ディスペンサーを
傾けないでください